

# 第13回北斗市地域公共交通活性化協議会 書面開催結果

議案送付日 令和5年1月20日

## ○議件

### 1 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について（協議）

#### (1) 書面協議結果

承認する……23名 承認しない……0名

#### (2) 意見

- ・利用者数が非常に少なく残念な結果となっている。  
ニーズはあると思うので、今一度住民が望む利用形態等を検討する必要がある。  
運行経路を病院直結にする、一定期間、料金を無料にしてニーズの確認を行うなど利用者数を増やす大胆な検討も必要ではないか。
- ・事業は計画どおり実施いたしました。輸送量が当初よりの目標でありました2人に到達できなかったこと、実施事業者といたしましても深く憂慮しております。今後も利用者増に向けて鋭意努力してまいりますのでお力添えのほどよろしくお願いいたします。まずは運行路線・ダイヤ等周知いただけますよう広報誌等活用して宣伝活動を今一度行いたいと思います。
- ・事業評価については、適正である。
- ・3系統の内大野線+茂辺地・石別線の2系統で全体の97%を占めている事であるが、この利用者は往復ともに利用しているのか？買物、診療時間の関係で復路は別の交通機関を利用せざるを得ない状況にあるのかを調査する必要があるのでは？
- ・上磯線の利用客は3%であることから重点を2系統に絞った対策が必要ではないか。
- ・上磯線の輸送量が0.2人と大きく離れているのが気になります  
原因の解析が改善点につながるように思います
- ・上磯線の利用がほとんどないのは、北斗の循環バスの影響なのか、路線の設定が悪いのかなどの検討を行ってください。  
そのうえで、利用数の改善が望めないのであれば、利用数の多い路線に資源を集中するなどの対策を検討してください。  
バス運行ではなく、タクシーに対する補助に切り替えることも含めて、事業全体の見直しが必要と思われれます。
- ・事業に関する評価については、特に問題はないと思います。  
しかしながら、目標・効果達成状況に関してなかなか厳しい状況なのは、初年度であり認知度も低いことからということでしょうか。事業の改善点でもあがっていったように、認知度を向上させるのが重要だとは思いますが、記載事項にもあった対象者に直接コミュニケーションをとることやモニターの数を増やすことは非常に効果的であると思います。あとは、個人的な意見ですが、小学校等での教育現場で呼びかけや家族も含むモニター乗車をすることで、世帯内にも広がっていくと思います。

## ○その他

- ・北斗市において移動の手段は、自家用車での移動が多いものと思います。

そのような状況の中、高齢になり免許返納したあとの移動手段は、必然的にバスや列車等ということになるのですが、どうしても複合的に乗り継ぐという行動を躊躇する傾向にあります。

都市部に居住している人は、電車、地下鉄、バス等の複数の公共交通を複合的に利用し目的地に移動する事は当然のごとく抵抗がないわけで、今後は、本市においても乗り物を乗り継ぐという発想の醸成が必要であると考えます。そういう意味からも、巡回ワゴンの運行は有用な事業であると判断しているところです。

「乗り物を乗り継ぐ」という感覚が養われるまでは苦戦するかもしれませんが、今後に期待しております。

- ・本事業の進め方は適切と思うと共に今後も課題の克服に対処してゆくことが求められます。利用実績だけで判断すると厳しいようですがコロナ後や冬期間の状況を経て、もう少し長い目で見える必要がある気がします。当地域でも予想以上に車の乗り合わせや移動販売車の導入が目立ち、病院や施設の送迎も充実してきています。地元商店も生鮮食品を増やすなどして対応している様子が伺います。
- ・運行時間の是非や地域特性は置いておいて現在50代60代で、10年後もスマホを操作できるであろう世代向けにQRを読み込むと巡回バスの位置、最寄りのバス停地図と上り下りの停車時間などがリアルタイム表示されるようなアプリを開発した方が将来的に利用率の改善に役立ちそうとも感じます